

次世代IPネットワーク分野における諸外国への 展開状況及び今後の取組について

平成19年11月30日

2007年6月 マレーシアへの官民ミッションの派遣

マレーシアにおける次世代IPネットワーク導入促進に向けて、セミナーを開催し、日本の次世代IPネットワーク技術等を広く紹介(ワイアレスと共同開催)

1 エネルギー・水・通信省 ハリム次官との会談

- (1) 日時・場所:6月26日(火) マレーシア(クアラルンプール)
(2) 出席者:(当方)桜井電気通信事業部長、在馬大佐々山参事官 等
(先方)ハリム次官、アンバラガン国際部長 等

(3) 概要

- ◆ ハリム次官より、今回のセミナーはマレーシアにとって極めてタイムリーであり、感謝している旨の発言。マレーシアの課題として、市場規模の小ささ、バックボーン回線の確保などの課題を指摘。さらに、今後も、日本の協力に対する期待を表明。
- ◆ 桜井電気通信事業部長より、我が国における次世代IPネットワークの現状等を紹介。



2 次世代IPネットワークセミナー

- (1) 時・場所:6月26日(火) マレーシア(クアラルンプール)
(2) 講演者:総務省(桜井電気通信事業部長)、NTT、NEC、富士通、三菱電機、日立、フジクラ

(3) 概要

- ◆ マレーシア側(ハリム エネルギー・水・通信省次官)から「マレーシアにおける次世代IPネットワーク、3G等の動向及び日馬間協力の重要性」について講演。
- ◆ 桜井部長から次世代IPネットワークの動向と日本の取組について講演を行ったほか、
 - ① 日本における次世代IPネットワークの取組事例
 - ② FTTxに関するネットワーク技術
 - ③ 3Gの現状及び4Gに向けた取組
 - ④ 次世代移動通信の標準化活動 に関する紹介を実施。
- ◆ 主管庁、テレコムマレーシア、マキシス等通信キャリアを中心に約170名が参加し、活発な質疑応答が行われるなど、マレーシア側の関心の高さが伺われた。

両国大臣合意(1月)及び官民ミッション派遣の際の協議結果(3月)に基づく専門家ミッションを派遣し、IPサービスワークショップを開催するとともに、今後の両国協力の具体化に向けた意見交換等を実施。

1 郵電公社(VNPT) クオン電気通信局副局長との意見交換

(1) 日時・場所:6月13日(水) ベトナム郵電公社(ハノイ)

(2) 出席者:(当方)総務省(湯本調査官)、NTT、NTTコム、ウィルコム、NEC、日立、FTTH Council Asia-Pacific、三菱電機、フジクラ、インテック・ネットコア、JPNIC

(3) 概要

- ◆ 総務省及び各社から、今回の訪問が両国大臣合意(1月)及び官民ミッション派遣の際の協議結果(3月)に基づく具体的なアクションの1つであることを確認。また、ベトナム国内への次世代IPネットワーク導入に向けた具体的課題の抽出と今後のスケジュール策定に向け、日本における実績を説明。
- ◆ 日本の参加企業各社から日本におけるIPネットワーク構築・オペレーション、新ビジネスモデル等に関して紹介。
- ◆ ベトナム側から、2010年をターゲットとするベトナム版次世代IPネットワークの説明がなされるとともに、日本におけるIP化の経験の情報共有を希望。また、本分野における更なる意見交換等を活発化していきたいとの発言。
- ◆ 総務省から、人材育成、人材交流策の実施、両国間による実証実験の提案を行い、ベトナム側より賛同を得た。

2 郵電省 ハー国際協力局長との意見交換

- (1) 日時・場所:6月14日(木) ベトナム郵電省(ハノイ)
(2) 出席者:(当方)総務省(湯本調査官)、NTT、ウィルコム
(先方)ハー国際協力局長、VNPT、郵電研究所(PTIT)等

(3) 概要

- ◆ ベトナム側より次世代IPネットワーク移行に際して
 - ① 幅広いレベルにおける人材育成
 - ② 日系企業のベトナムへの技術移転促進
 - ③ 日本の経験に対する意見交換の場の設定 などの協力依頼があった。
- ◆ 総務省から、次世代IPネットワークの技術基準については、日本における取組を今後紹介していきたい旨説明。
また、人材育成については、ODA等による各種スキームを説明するとともに、ネットワーク構築・運用や各種サービスに携わる人材育成や日越共同の実証実験の提案を行った。

3 IPサービスワークショップ

- (1) 日時・場所:6月13日(水) ベトナム(ハノイ)
(2) 出席者:(当方)総務省(湯本調査官)、NTT、NTTコム、日立、インテック・ネットコア、JPNIC他
(先方)VNPT、越データ通信会社(VDC)、FPT(民間ISP)、ベトナムアドレス管理機関(VNNIC)

(3) 概要

- ◆ JPNIC、インテック・ネットコアからIPv4からIPv6への移行について、NTTコムからISPのサービス動向について、日立、インテック・ネットコアから、新規アプリビジネス・ソリューション(動画サービス、RFID)等についてベトナム側に説明。
- ◆ 日本側とベトナム側とで上記のテーマを中心に、IPサービスの動向等について幅広く意見交換を行った。
- ◆ ベトナム側から、特にIPv6への移行時の問題点等について多数質問が寄せられたほか、ISPの人材育成への協力に対する期待が示された。

インドネシアにおける次世代IPネットワーク導入促進に向け、世界銀行主催セミナーにおいて我が国の次世代IPネットワーク分野における取組等を広く紹介。併せてインドネシア通信情報省等との意見交換も実施。

1 アシュイン通信情報省次官との意見交換

(1) 日時・場所: 9月25日(火) インドネシア通信情報省(ジャカルタ)

(2) 出席者: (当方) 谷脇事業政策課長、NTT、在尼大藤波書記官
(先方) アシュイン通信省次官、ブディ郵電総局電気通信局長等

(3) 概要

- ◆ 谷脇事業政策課長から今回の意見交換及び「次世代IPネットワーク環境下における競争管理」セミナーがインドネシア側の次世代IPネットワークの理解につながることを願う旨説明。
- ◆ アシュイン次官より次世代IPネットワークの新しい技術が有益なものとして活用されることを期待している旨、ICT分野に対する協力を引き続きお願いしたい旨それぞれ発言。



2 PTテレコム ニョマン取締役(ネットワーク&ソリューション担当)との意見交換

(1) 日時・場所: 9月24日(月) インドネシアPTテレコム(バンドン)

(2) 出席者: (当方) 谷脇事業政策課長、NTT、在尼大藤波書記官

(3) 概要

- ◆ 谷脇事業政策課長及びNTTより日本における次世代IPネットワークの取り組みについてそれぞれ説明。
- ◆ ニョマン取締役より、本分野は日本が先行しており、セミナーや日本への招へい等を通じて、日本の経験をインドネシアとしても共有したい旨発言。
- ◆ 谷脇課長より、本分野は日本においても、商用化はこれからであるが、協力していきたいと発言。

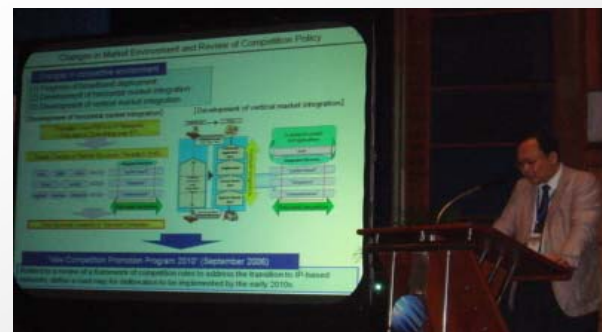
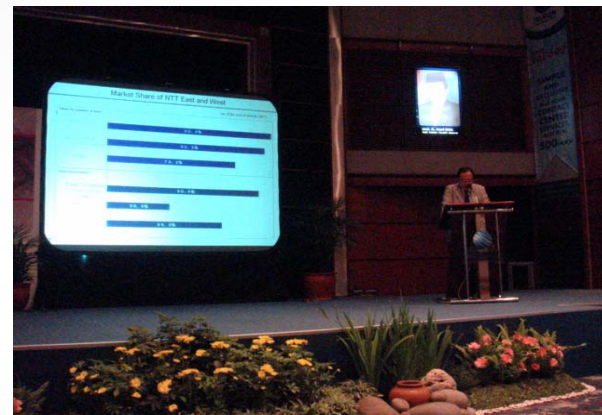
3 次世代IPネットワーク環境下における競争管理セミナー

(1) 日時・場所: 9月25日(火) インドネシア(ジャカルタ)

(2) 講演者: 総務省(谷脇事業政策課長)、NTT

(3) 概要

- ◆ インドネシア・ムハマド・ヌー通信情報大臣よりセミナー開催に歓迎の辞が述べられ、引き続き、谷脇事業政策課長から「日本におけるブロードバンド政策」について基調講演。
- ◆ 谷脇事業政策課長による講演のほか、NTTからNGN構築への取組についてプレゼンテーションが行われた。谷脇事業政策課長の講演には、ヌー通信情報大臣、ブディ局長が出席し、インドネシア側から高い関心が示された。
- ◆ インドネシア、インド及びシンガポールの主管庁、インドネシアPTテレコム、マレーシア、ブルネイなどの通信キャリアを中心に約150名が参加するなど、ASEAN諸国の関心の高さが伺われた。



第3回日中韓電気通信サービス政策フォーラムの場で、我が国の次世代IPネットワーク分野における取組を紹介。併せて中国情報産業部との意見交換を実施。

1 中国情報産業部 韓夏副局長との会談

- (1) 日時・場所: 10月29日(月) 中国情報産業部(北京)
- (2) 出席者: (当方) 武内 電気通信事業部長、在中大三原書記官等
:(先方) 韓 情報産業部副局長 等
- (3) 概要

◆ 武内部長から我が国の次世代IPネットワーク分野における取組を説明するとともに、日中韓におけるNGNのテストベッド構築についての協力関係推進を確認。今後とも両国の電気通信分野における協力を強化していくことで一致。

2 日中韓電気通信サービス政策フォーラム

- (1) 日時・場所: 10月30日(火) 広州ホテル(北京)
- (2) 出席者 日本: 武内 電気通信事業部長 等
中国: 蔣 情報産業部副部長 等
韓国: リー 通信放送政策局長 等
- (3) 概要

- ◆ 各国ともに、電気通信市場の動向、規制の枠組みやその見直しの動向などを紹介。日本側からは、我が国の次世代IPネットワーク分野における取組も含め、『新競争促進プログラム』等の最近の電気通信政策の動向について説明。
- ◆ 韓国側から日本側に対し、NGNに対する今後の規制の考え方について質問があり、日本側より、NGNについては、接続ルールの在り方について審議会に諮問を行うなどその規制の在り方の検討に着手した旨回答。また、『新競争促進プログラム』にもあるとおり、ドミナント規制についてIP時代にあった見直しを行っていく考えである旨回答。
- ◆ 日中韓が、電気通信事業の発展のために、競争政策、規制政策、融合サービスの発展に関する政策を促進することとし、政策面での協力を進めること等について合意。



シンガポールにおける民間団体主催セミナーにおいて、我が国の次世代IPネットワーク分野における取組を広く紹介。併せて、シンガポール情報通信開発庁等との意見交換を実施。

1 NGNサミット2007における講演等

- (1) 日時・場所: 10月31日(水) シンガポール
- (2) 講演者: 総務省(本間事業政策課調査官)、NTT、NEC

(3) 概要

- ◆ 本間調査官より、我が国の次世代IPネットワーク分野における取組を広く紹介。また、NTT及びNECからも、それぞれの取組を紹介。
- ◆ アジア・中東地域の事業者、ベンダ、規制体約40主体より約80名が参加するなど、各国の関心の高さが伺われた。



2 シンガポールテレコムとの意見交換

- (1) 日時・場所: 10月31日(水) シンガポールテレコム
- (2) 出席者: (当方)本間調査官、NTT、NEC、在星大小林書記官
(先方)ショーン ヴァイスプレジデント等

(3) 概要

- ◆ 本間調査官、NTT及びNECより、我が国の次世代IPネットワーク分野における取組をそれぞれ説明。本間調査官より、我が国においては、次世代IPネットワーク構築の取組が始まったところであり、今後も機会を捉え、情報交換・意見交換し、互いのベストプラクティスを共有していきたい旨説明。先方から日本における取組には関心を持っている旨発言。今後とも情報交換・意見交換していくことで合意。



3 シンガポール情報通信開発庁との意見交換

- (1) 日時・場所: 10月31日(水) シンガポール情報通信開発庁
- (2) 出席者: (当方)本間調査官、NTT、NEC、在星大小林書記官
(先方)ヒア シニアディレクター等

- (3) 概要 シンガポールテレコムとの意見交換と同旨。



次世代IPネットワーク分野における取組

	～平成19年度8月	9月～12月	1月～3月	平成20年度4月以降
アジアを対象とした 政策協議、普及活動 等	(ベトナム) ・フン情報通信省副大臣 との意見交換(東京) ▲ 9/27	ベトナムでの相互接続性・運用性に関する調査等を通じた 小規模技術実験を実施		19年度調査を踏まえ本格的実証実験 の実施を検討
	(インドネシア) ・世銀主催セミナー(ジャカルタ) での基調講演、通信情報省 等との意見交換 ▲ 9/25			
	(インド) ▲ 10/9 ・FTTH技術セミナー (インド ニューデリー)			
	(中国) ▲ 10/30			
	(韓国) ・日中韓電気通信サービス政策 フォーラム(北京)、情報産業部 との意見交換	▲ 10/30	▲ 11/10 ・日中韓情報通信大臣会合 (時期未定)	
	(その他) ▲ 10/30～11/1 ・シンガポールNGN セミナー、情報 通信開発庁等との意見交換		▲ 11/10 ・意見交換・普及活動の展開	▲ 4月 ・APEC電気通信・情報産業大臣会合
その他	(ODA関係) ▲ 9/12 ・APT開発フォーラム NGNスタディビジット(東京)	▲ 12月上旬～中旬 ・JTEC研修(次世代IPネットワーク分野)	▲ 1月下旬～2月上旬	▲ 7月 FTTHカウンシル アジアパシフィック (7月・マレーシア)

(参考)

国際標準化活動 (ITU-T)	▲ 9/10～21 ・NGN-GSI		▲ 1/14～25 ITU-T(NGN-GSI, SG11, SG13)	▲ 5月 ITU-T(NGN-GSI)
(アジア・太平洋電気通信 標準化機関 (ASTAP))		▲ 10/1～5 ・第13回ASTAP総会	(ITUIにおける標準化連携強化に向けたアジア諸国との	▲ 6月 第14回ASTAP総会
NTTによるNGNの取組等	フィールドトライアル第3期 (NTT社員・一般ユーザ対象)		※2007年度下期商用サービス開始予定 ハノイPT(ベトナム)と光アクセスの 共同トライアル実施予定	